

サンデーサイエンス

カモのエコデコイをつくろう

担当：動物研究室

1 内容

野鳥（特にカモ類）を中心にして身近な動物たちの形態やくらしについて考える機会をつくり、楽しみながら動物のからだのつくりの違いや機能を理解する。

【カモ類の羽色】

カモ類の多くは、冬期になるとオスの羽色が目立つ色をした繁殖羽になる。カモ類は冬になると越冬地に渡って冬を越すが、越冬地では何種類ものカモ類が一緒になって過ごす。オスの羽色が目立つのは、メスが自分と同じ種のオスを間違いなく選ぶためと考えられている。メスの羽色は地味だが、これは猛禽類などの捕食者から狙われにくくするためと考えられている。

また、カモ類のオスは、繁殖期に入ると換羽が始まり、繁殖期の後期には風切羽が一斉に抜けるため、一時的に飛べなくなる。この時期のオスは「エクリプス」という、メスに似た地味な羽色になって、外敵から見つかりにくくなる。

2 準備物

鳥はく製、翼標本、オナガガモ紙芝居、エコデコイ、筆、パレット、アクリル絵の具、鉛筆

3 手順

（１）水辺にすむ動物について、はく製や図などを用いて、形態や生態から正体を考えていくクイズを行う。

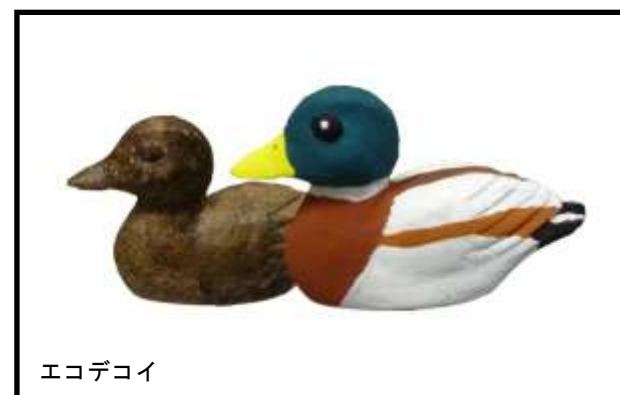
※昆虫などの図や、マガモ、ウミネコ、コサギ、カイツブリのはく製などを用いる。

（２）自作の紙芝居で、カモ類の雌雄の違いや求愛、渡りなどの生活史を学ぶ。

（３）水辺の鳥のはく製や画像などを用いて、生態に

応じてくちばしの形状や足のつき方などのからだのつくりの違い、雌雄や季節による色彩の変化などがあることを学ぶ。

※使用するはく製 カモ類…マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、シノリガモ、ミコアイサなど
その他…カイツブリ、バン、カワウなど



（４）カモのエコデコイに各自自由に彩色して、オリジナルデコイを製作する。

※エコデコイは、千葉県産ナンプスギの樹皮を利用したバイオマスプラスチック製のものを使用した。



動物クイズを行う



図鑑や塗装例をみながら色づけ



はく製をみながら色づけ



完成したエコデコイ

4 注意点

- ・エコデコイの木地のままではアクリル絵の具の色があまり出ないため、エコデコイの紹介をした後に、白い絵の具で下塗りをするとうい。
- ・アクリル絵の具はあまり水を加えずに塗ることで、ムラになりにくく、乾きが速くなる。

5 参考資料

山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥. 山と溪谷社. 叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄®.

環境学習プログラム エコデコイの色塗りをしよう. 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト「木質プラスチック部会」. 山岸さゆ里・布留川毅.